

家庭用燃料電池エネファーム

かんたん操作ガイド

下記についてご説明します。
詳細は取扱説明書をご確認ください。

- 1 発電モードを選ぶ
- 2 お湯を使う
- 3 お湯をはる
- 4 今日の実績/エネルギーを見る
- 5 リモコンの説明

もしものとき～ 停電のとき

もしものとき～ 断水のとき

■ 2019年度モデル
(バックアップ熱源機一体型) 用



ご使用前に、取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みのうえ、お使いください。

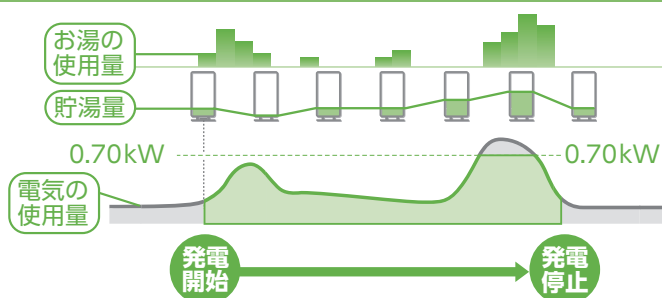
エネファームの運転方法について

エネファームは発電するときに、電気といっしょにお湯をつくります。つくった電気やお湯をご家庭で有効にご使用いただくことで、無理なく省エネになります。発電モードは、お客さまの暮らしやお好みに合わせて、以下の7種類からご選択いただけます。

自動発電	🍀 おまかせ	とにかく使ってみたい!省エネしたい!
	💡 発電優先	発電時間を長くしたい!
	🚿 お湯優先	エネファームでつくったお湯をたっぷりを使いたい!
🕒 予約発電		自分で発電時刻を決めたい!
🔋 貯湯量発電		貯湯タンクのお湯を使いきって、満タンになるまで発電したい!
⚡ 手動発電		今すぐ発電をしたい!
🔌 発電切(お出かけ停止)		発電を止めたい!

- 自動発電(おまかせ)以外の発電モードに設定すると、自動発電(おまかせ)に設定した場合と比較して省エネ性が低くなる場合があります。

自動発電(おまかせ)の運転イメージ



自動発電とは

お客さまの1か月間の生活パターン(お湯と電気の使用時間と使用量)を学習し、過去の同曜日4日間の情報をもとに、当日の生活パターンを予測して、省エネになるようにエネファームの動きを決定する運転方法です。

- 1回の発電時間は、最長120時間(5日間)です(予約発電を除く)。実際の発電時間や発電量は、ご家庭の電気・お湯の使用状況などにより異なります。
- 1回の発電につき、2時間以上の機器内部リフレッシュを必要とします。このため、この時間は発電を停止します。

1

発電モードを選ぶ

台所
リモコン

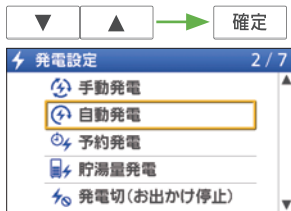
1

発電設定 押す



2

お好みの<発電モード>を選び、
確定する



● 自動発電に設定する場合

3 ▼ ▲ で好みの<自動発電>を選び、**確定**を押す

4 『〇〇〇〇※1』に変更しますか。』の画面で、「はい」を選び、**確定**を押す
※1 選択いただいたお好みの<自動発電>

● 予約発電に設定する場合

3 ▼ ▲ で発電の開始時刻を設定し、**確定**を押す

4 ▼ ▲ で発電の終了時刻を設定し、**確定**を押す

5 「予約発電に変更しますか。」の画面で、「はい」を選び、**確定**を押す

● 貯湯量発電に設定する場合

3 「貯湯量発電に変更しますか。」の画面で、「はい」を選び、**確定**を押す

● 手動発電に設定する場合

3 「手で発電を入/切します。」の画面で、「入」を選び、**確定**を押す

4 「手動発電を開始しますか。」の画面で、「はい」を選び、**確定**を押す

● 発電切(お出かけ停止)に設定する場合

3 「発電切に変更しますか。」の画面で、「はい」を選び、**確定**を押す

2

お湯を使う

台所
リモコン

浴室
リモコン

1

給湯・ふろ 切/入 「入」(ランプ点灯)にする

2

温度を確認する

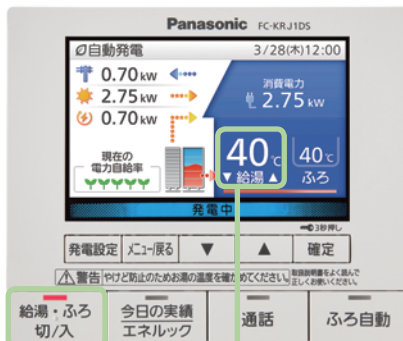
■ 温度を変えるとき

- 給湯・ふろ 切/入 を「入」(ランプ点灯)にし、▼ ▲ で好みの温度に変更してください。

3

お湯を出す

* 給湯・ふろ 切/入 が「切」(ランプ消灯)のときはお湯は使えません。



3

お湯をはる

台所
リモコン

浴室
リモコン

1

給湯・ふろ 切/入 「入」(ランプ点灯)にする

2

ふろ自動 「入」(ランプ点灯)にする

■ ふろ湯温や、ふろ湯量を変えるとき

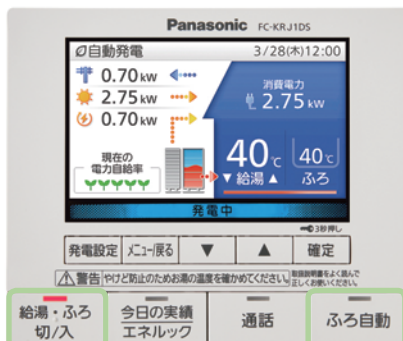
給湯・ふろ 切/入 「入」(ランプ点灯)にして **メニュー戻る** → 「ふろ設定」を選び、**確定**を押す

→ 「ふろ温度設定」または「ふろ湯量設定」を選び、**確定**を押す
→ ▼ ▲ で、希望の温度、湯量を選び、**確定**を押す

■ 希望時刻にお湯はり完了させたいとき(台所リモコンのみ)

メニュー戻る → 「ふろ設定」を選び、**確定**を押す → 「ふろ予約」を選び、**確定**を押す

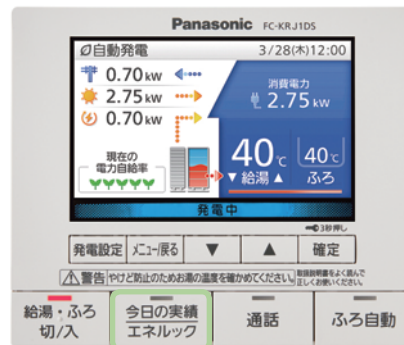
→ ▼ ▲ で、お湯はり完了時刻(ふろの沸き上がり時刻)を選び、**確定**を押す



* 予約は1度のみ有効です(繰り返しません)。お湯はりを行うたびに、予約設定の操作をしてください。

* 時間帯を決めてふろ予約する「発電アシストふろ予約」機能もあります。発電アシストふろ予約を設定すると、設定した時間帯内で、タンクのお湯が5目盛り付近になるとお湯はりし、満タンによる発電停止を回避することができます。

今日の実績/エネルギーでは、その日やこれまでの発電量、CO₂削減量、電気やお湯の使用量などを見ることができます。



「今日の実績」の見かた

- 1 **今日の実績 エネルギー** を押す(ランプ点灯)
- 2 **▼ ▲** で、「今日の実績」を選び、**確定** を押す
- 3 **▼ ▲** を押すごとに、
「今日の実績：エネファーム」画面→
「今日の実績：太陽光発電^{※1}」画面→
「今日の実績：エコ貢献」画面が表示されます。

■ 1つ前の操作に戻るとき

→ **メニュー戻る** を押す

■ 終了・中止するとき

→ **今日の実績 エネルギー** を押す(ランプ消灯)

※1 W発電表示設定「入」の場合のみ表示されます。

今日の実績：エネファーム		1/3 ▼
今日		昨日
発電	333円 11.1 kWh	10.8 kWh
自給率	60%	56%
タンクのお湯	434L	422L
自給率	80%	80%

上段：エネファームでつくった、今日の発電量
下段：家庭内の電気使用量のうち、
エネファームでまかなえた割合(自給率)

上段：エネファームでつくった、今日のタンクのお湯(使用量)
下段：家庭内のお湯の使用量のうち、
エネファームでまかなえた割合(自給率)

「エネルギー」の見かた

- 1 **今日の実績 エネルギー** を押す(ランプ点灯)
- 2 **▼ ▲** で、「エネルギー」を選び、**確定** を押す
例) 電気やお湯のつくった量を見る場合
- 3 **▼ ▲** で、「発電^{※2}」を選び、**確定** を押す
- 4-1 **▼ ▲** で、「電気」を選び、**確定** を押す
▼ ▲ を押すごとに、今日、昨日、今月、先月、過去1年のエネファームの発電量を見ることができます。

■ 1つ前の操作に戻るとき

→ **メニュー戻る** を押す

- 4-2 **▼ ▲** で、「給湯」を選び、**確定** を押す

▼ ▲ を押すごとに、今日、昨日、今月、先月、過去1年のエネファームがつくったお湯の量を見ることができます。

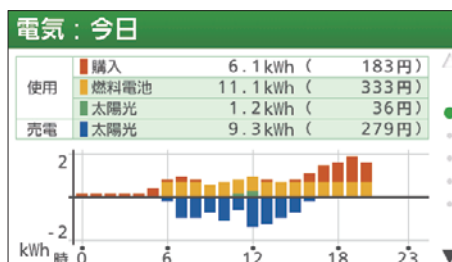
■ 1つ前の操作に戻るとき

→ **メニュー戻る** を押す

■ 終了・中止するとき

→ **今日の実績 エネルギー** を押す(ランプ消灯)

※2 W発電表示設定「入」の場合は、「W発電」と表示されます。



エネファームの特長や、もしものときの操作方法を、弊社「エネファーム」のホームページにて動画でご紹介しています。

詳しくは
ホームページへ

エネファーム パナソニック

検索

<https://panasonic.biz/appliance/FC/>



パナソニック株式会社 アプライアンス社 スマートエネルギーシステム事業部

〒525-8520 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号

FC-19007-U

2021.07

- 掲載されている情報は2019年5月現在のものであり、変更することがありますのでご了承ください。
- 商品写真について、ラベル等実物とは異なる場合があります。また印刷色のため色調等は多少異なる場合があります。

5 リモコンの説明

■各部

●下記は台所リモコンですが、浴室リモコン・増設リモコンも基本的な操作方法是同じです。

(台所リモコン)

発電ランプ(青)

「発電ランプ設定」が「入」で発電中に点灯・表示。(浴室リモコンなし)

発電設定スイッチ

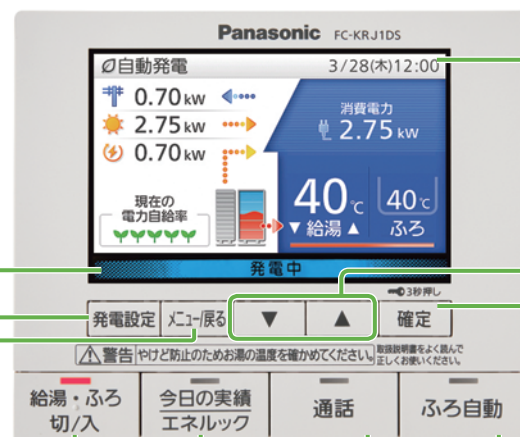
発電モードを変更するとき。(増設リモコンなし)

メニュー/戻るスイッチ

メニューを表示するとき。前の画面に戻るとき。

給湯・ふろスイッチ・ランプ(赤)

リモコンの表示を入/切するとき。給湯・ふろ機能を使うとき。



画面表示部

(下記参照)

三角スイッチ

給湯温度や設定内容を変えるとき。

確定・ロックスイッチ

選んだ内容を確定するとき。誤操作を防ぐために、ロックするとき。

ふろ自動スイッチ・ランプ(赤)

設定した湯量と温度で、お風呂にお湯をはるとき。

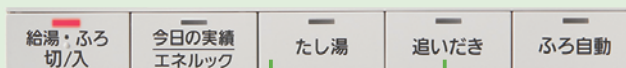
今日の実績/エネルギーランプ(赤)

今日の実績やエネルギー(発電や使用量に関する情報)を表示、設定するとき。

通話スイッチ・ランプ(赤)

台所リモコンと浴室リモコンで通話するとき。

(浴室リモコン)



たし湯スイッチ・ランプ(赤)

たし湯をするとき。

追いだきスイッチ・ランプ(赤)

追いだきするとき。

■画面

発電モード表示

設定中の発電モードを、アイコンで表示します。また、右記の表示を行うことがあります。

■保護動作中

機器を正常に動作させるために、右表の保護動作を行うことがあります。保護動作中は発電を停止しますが、給湯・ふろ・暖房の利用は可能です。

表示	原因
□保護動作中	4日程度お湯を使用していないとき
■保護動作中	電力使用量が多く、ブレーカー遮断のおそれがあるとき
■保護動作中	内部温度が運転可能温度を超えているとき
■保護動作中	発電後、2時間停止しているとき
■保護動作中	マイコンメータの機能確認をしているとき
■保護動作中	エネファーム内部の水を浄化しているとき

売電電力/購入電力表示

← 売電電力 ※1
→ 購入電力

太陽光発電表示 ※1

※1 W発電表示設定「入」時のみ

エネファーム発電表示

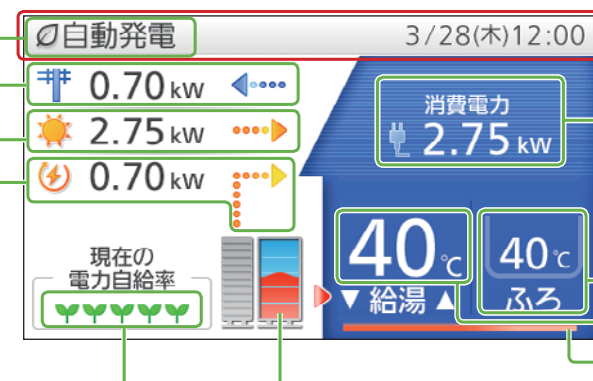
発電状態表示

待機中 (アニメーション表示)

起動中 (アニメーション表示)

発電中 (アニメーション表示)

停止中 (アニメーション表示)



電力自給率表示

家庭の電力をエネファームと太陽光発電でどれだけ自給できているかを表示します。目盛り(♥)は20%単位で表示します。

貯湯タンクの残湯量表示

発電中は貯湯タンク内でお湯が波打つアニメーション表示をします。お湯の温度が約45℃以上の残湯量を表示します。5日盛りになると音でお知らせします。

この領域にエラー表示(○OFO、3桁数値など)が出た場合は、取扱説明書をご確認の上、お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者までご連絡ください。

家庭の消費電力表示

ふろ状態表示

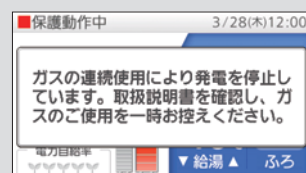
給湯設定温度

床暖房状態表示

「■保護動作中」のときは

「■保護動作中」にガスのご使用が続くと、都市ガスは最長24時間、LPガスは最長48時間、発電を停止します。

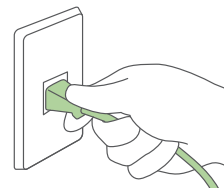
さらにガスのご使用が続くと、リモコンに右の画面が表示されますので、都市ガスは70分以上、LPガスは100分以上、ガスのご使用をお控えください。



停電のとき

エネファームが発電中に停電になった場合、停電中でも停電時専用

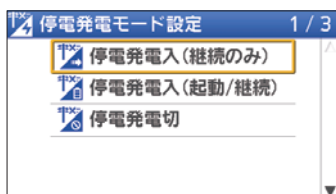
- 停電時にエネファームが発電するためには、ガスと水道が供給状態であることが必要です。
- 停電時専用コンセントの位置は、事前に販売店に確認しておいてください。
- 停電時専用コンセントは、たこ足配線で使用しないでください。
- 停電時専用コンセントは、通常時は使用できません。



事前の準備

台所リモコンにて、停電発電モード設定が「停電発電入」になっていることを確認してください。

* 出荷時設定は、「停電発電入(継続のみ)」となっています。



台風等の影響による停電、計画停電等が事前に予測されている場合、以下の設定を行うと、より安心して停電に備えられます。

当日の場合 (例：天気予報により、夕方からの強い雷雨による停電が予測された場合)

- 発電中か否かに関わらず、すみやかに発電モードを「**手動発電**」に変更してください。
- リモコンを確認し、貯湯タンクがお湯で満タンになって発電停止しないように、定期的にお湯を使ってください。
- * 当日すでに2回発電を行っている場合や発電停止後2時間以内である場合など、「手動発電」を設定できない場合があります。
- * 手動発電設定を行ってから発電を開始するまでに、都市ガスは約40分、LPガスは約90分かかります。発電開始までの間に停電が発生した場合は、停電発電を行うことができません。

1日以上前の場合

(例：3日後の昼、台風直撃による停電が想定された場合)

- 停電予定の前日までに「**予約発電**」の設定により、停電発生が予測される時刻の2時間前を、予約発電の発電開始時刻に設定してください。
- * 貯湯タンクがお湯で満タンの場合等、設定した発電開始時刻になっても発電しない場合があります。
- * 当日の発電開始後は、リモコンを確認し、貯湯タンクがお湯で満タンになって発電停止しないように定期的にお湯を使ってください。

- 「発電モード」の設定方法は「1 発電モードを選ぶ」を参照してください。

台所リモコン 浴室リモコン いずれも可

1 表示画面を確認し、**確定**を押す

2 表示画面を確認し、**確定**を押す

3 給湯・ふろ切/入 「入」にする(ランプ点灯)

4 使用したい電気機器を「停電時専用コンセント」に接続し使用する

使用(消費)電力が発電電力以下となるように、電気機器の使用量を調整してください。

- * 最大0.50kWの電気を使用できます。ただし、エネファームで消費する電力を含みます。
- * 最長約8日間(停電前の発電開始から192時間)発電することが可能です。

(参考)使用電力の目安

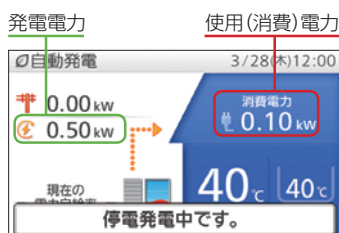
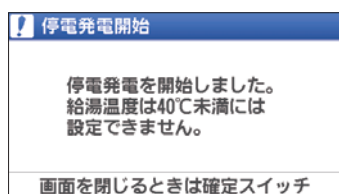
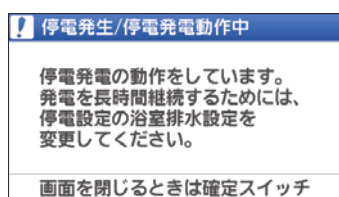
(パナソニック調べ2018年11月)

液晶テレビ(32型)：約0.07kW
ノートパソコン：約0.06kW
携帯電話の充電：約0.01kW
シャワー：約0.11kW

→ 使用電力は、メーカー・機種・使用条件などによって変わります。さらに動作しない機種もあります。

コンセントから電気を使用することができます。

エネファームが発電中に停電になったら(つづけて発電)



長時間発電を継続させるためには 浴室排水設定を「入」にしてください。

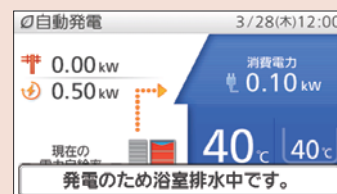
エネファームは発電によって貯湯タンクがお湯で満タンになると発電を停止します。浴室排水設定を「入」にすると、貯湯タンクが満タンになると、お湯をおふろの循環アダプターから浴槽に排水するので、発電停止を回避できます。

- * 浴室排水設定は、停電が発生するまで設定を変更することができません。停電が発生したら速やかに変更してください。
- * 安全のために必ず浴槽の排水栓を開けてください。
- * 「浴室排水設定」は停電復旧後に自動的に「切」に戻ります(停電発生の都度、設定する必要があります)。

「浴室排水設定」の設定方法

台所 リモコン 浴室 リモコン いずれも可

- 1 メニュー戻るを押す
- 2 ▼ ▲ で「停電設定」を選び、確定を押す
- 3 ▼ ▲ で「浴室排水設定」を選び、確定を押す
- 4 ▼ ▲ で「入」を選び、確定を押す
- 5 画面を確認して、確定を押す



浴室排水中の画面例

エネファームが発電停止中に停電になったら(つなげて起動)

エネファームが発電停止中の場合は、携帯型の蓄電池や発電機などと接続することで、エネファームを起動させ、発電させることができます。

- * 停電発電モード設定を「停電発電入(起動/継続)」にする必要があります。

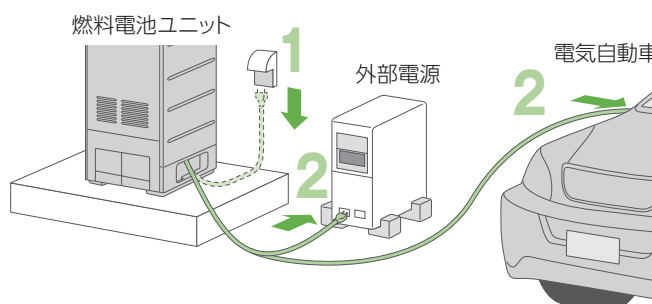
- 1 燃料電池ユニットの電源プラグを屋外コンセントから抜く
- 2 外部電源、または電気自動車など、AC100V出力に差し替える

■ 蓄電池および外部電源の使用できる電源の目安^{*1}

電圧: AC101V±6V

出力: 1kW以上

容量: 0.5kWh以上^{*2}



^{*1} 電源の性能・残容量によっては使用できないことがあります。

^{*2} 他に接続している電気機器の電力は含みません。

災害などで断水したときに、貯湯タンクのお湯(水)を取り出して、雑

- 飲用、調理用、および入浴用には、使用しないでください。
- 貯湯タンクからは、約130Lのお湯(水)を取り出すことができます。
- お湯(水)は、非常時水取出し栓(図のa)から取り出します。
- お湯(水)は、熱に強い容器で受けてください。
- * 容器や水道ホース(市販品で内径15 mmのものを推奨)はお客さまにてご用意ください。

お湯(水)を取り出す準備

- 停電中かつ停電発電をしていない場合は、手順1～4を省略し、手順5以下を行ってください。

1 給湯・ふろ切/入 「入」にする(ランプ点灯)

2 台所リモコンに、待機中(ー)または停止中(🔴:アニメーション表示)の表示が出ていないときは、「発電切(お出かけ停止)」にする

* 停電発電中の場合は、停電発電モード設定を「停電発電切」にしてください。



3 発電状態表示が待機中(ー)に変わるまで待つ (都市ガスは最長約90分間、LPガスは最長約110分間)

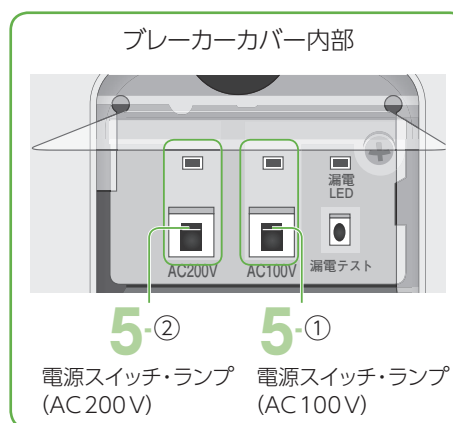


燃料電池ユニット

4 給湯・ふろ切/入 「切」にする(ランプ消灯)

5 システム電源を「切」にする

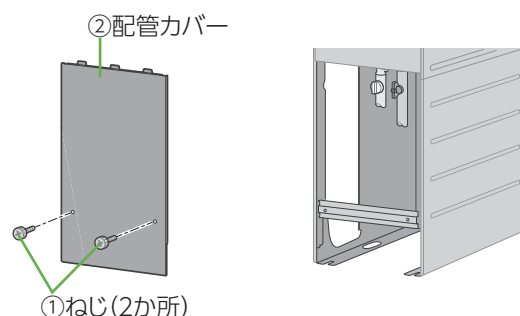
- ① 燃料電池ユニットのブレーカーカバー内部の電源スイッチ(AC100V)を「切」にする(AC200Vのランプも消灯しますが、②の操作をしてください)
- ② 燃料電池ユニットのブレーカーカバー内部の電源スイッチ(AC200V)を「切」にする



電源スイッチ・ランプ (AC200V) 電源スイッチ・ランプ (AC100V)

6 貯湯ユニットの配管カバーを取り外す

- ① ねじ(2か所)を外す
 - ② 配管カバーを外す
- * 配管カバーの形状は、設置形態により異なります。

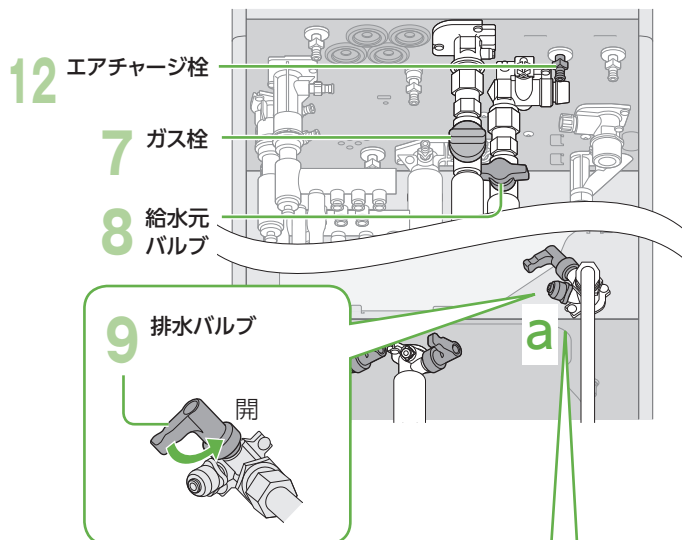


用水として利用できます。

お湯(水)の取り出し方

- 7 貯湯ユニットのガス栓を閉める
- 8 給水元バルブを閉める
- 9 排水バルブを開けて、すぐに元どおり閉じる
- 10 小さな容器を非常時水取出し栓の手前に置く
 - ・水道ホースなどを使う場合、水道ホースなどの先端を非常時水取出し栓に挿入する。
- 11 お湯(水)を受けるため、熱に強い大きめの容器を置く
 - ・水道ホースなどを使う場合は、一方の先端を入れてください。
- 12 エアチャージ栓を左に回して開く
- 13 非常時水取出し栓を左に回して開く
 - お湯(水)が出始めます。
 - ・栓を開けたときに勢いよく高温のお湯が出ることがあります。やけど防止のためお湯(水)が手や体にかからないようにしてください。
 - * 出てくるお湯(水)は、最初から高温であることや、途中から高温(最高約80℃)になることがあります。
 - (小さな容器を使う場合)
 - ・出てくるお湯(水)を小さな容器で受け、大きめの容器に移してください。
 - (水道ホースなどを使う場合)
 - ・ホース径が合わない場合などはお湯(水)が水道ホースなどの外に流れ出ないように、先端を押し付けてください。難しい場合は、手や身体にお湯(水)がかからないように保持してください。
- 14 お湯(水)を止めるには、非常時水取出し栓を閉じ、エアチャージ栓を右に回して閉める
 - ・取り出し可能な量(約130L)を出し切るには、約160分かかります。
- 15 配管カバーを元どおり取り付ける

貯湯ユニット(配管カバーを取り外した状態)
(イラストはすべての栓、バルブが「閉」の状態を表示)

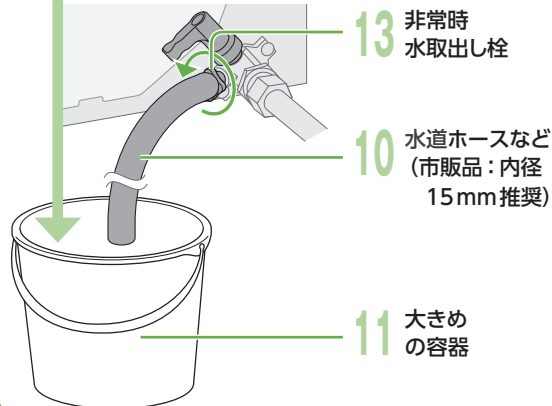


小さな容器を使う場合



警告 お湯に触れない (やけどの原因)

(水道ホースなどを使う場合)



システムの使用を再開するとき

使用を再開するときは、取扱説明書を確認して、システム電源を「入」にした後、貯湯ユニットの水抜きと、機器の水はりを行ってください。

うまくいかない場合や、再使用できない場合は、お買い上げの販売店、またはガス事業者にご連絡ください。